

岐労発基 0327 第 3 号  
令和 5 年 3 月 27 日

各関係団体の長 殿

岐阜労働局長  
(公印省略)

### 職域におけるウイルス性肝炎対策に関する協力の要請について

平素より、労働行政の推進につきましては、格段の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ウイルス性肝炎は、国内最大級の感染症と言われており、これに対する対策を総合的に推進するため、肝炎対策基本法（平成 21 年法律第 97 号）に基づき、肝炎対策基本指針（平成 28 年厚生労働省告示第 278 号。以下「指針」という。）（別紙）が定められています。本指針は、5 年ごとに見直しが行われており、令和 4 年 3 月 7 日に見直しが行われました。

国は、職域におけるウイルス性肝炎に対する対策について、これまで、「職域におけるウイルス性肝炎対策に関する協力の要請について」（平成 23 年 7 月 28 日付け健発第 0728 第 1 号、基発 0728 第 1 号、職発 0728 第 1 号厚生労働省健康局長・労働基準局長・職業安定局長通知）により協力を要請してきたところですが、見直し後の指針において、その一層の対策の推進が記されていることから、今般、改めて周知及び協力の要請を行うことといたします。

ウイルス性肝炎につきましては、肝炎ウイルスに感染しているものの、肝炎の自覚のない者が多数存在すると推定されること、感染経路等や治療に対する国民の理解が十分でないこと、一部において、肝炎の患者・感染者に対する不当な差別が存在すること等の問題が指摘されています。

また、従来は、副作用が多く、注射での投与が必要なインターフェロン治療が肝炎の主な治療でしたが、現在では、副作用が少なく、内服で肝炎ウイルスを抑制、排除できる治療が主流となりました。心身などへの負担がより少ない治療が可能となったことにより、肝炎患者等々が、働きながら治療を受けられる環境

の整備（治療と仕事の両立支援）や、肝硬変・肝がんになる前の肝炎の段階での早期発見・早期治療に向けたより一層の普及啓発を行うことがさらに重要となっております。

労働者の中には、肝炎ウイルス感染に対する自覚のない方や、感染に気づいていても、早期の治療をためらう方がいると考えられることから、肝炎の患者・感染者が早期に感染を自覚し、早期に治療を受けられる環境を作るためには、事業者及び保険者の皆様の御理解、御協力が不可欠です。

つきましては、下記の事項について、改めて御理解をいただき、関係者等への周知方、御協力をお願いいたします。

また、労働者の皆様に対する肝炎ウイルス検査の受診勧奨等の際には、別添のリーフレットを御活用いただきますようお願いいたします。

○厚生労働省健康局がん・疾病対策課肝炎対策推進室ホームページ

URL：[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kanen/kangan/hepatitis\\_kensa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kanen/kangan/hepatitis_kensa.html)

○リーフレット（別添）

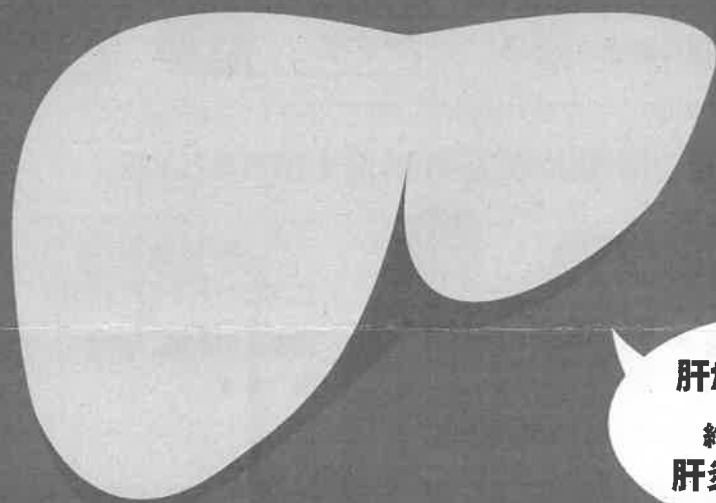
URL：<https://www.kanen.ncgm.go.jp/user/job.html>

## 記

- 1 労働者に対して、肝炎ウイルス検査を受けることの意義を周知し、検査の受診を呼びかけること。
- 2 労働者が肝炎ウイルス検査の受診を希望する場合には、受診機会拡大の観点から特段の配慮をすること。
- 3 本人の同意なく本人以外の者が不用意に検査受診の有無や結果などを知ることのないよう、プライバシー保護に十分配慮すること。
- 4 労働者が肝炎の治療と仕事の両立が行えるよう、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」等を踏まえ、通院に対する休暇の付与等、特段の配慮をすること。
- 5 職場や採用選考時において、肝炎の患者・感染者が差別を受けることのないよう、正しい知識の普及を図ること。

以上

ウイルスが体内にいるのか、いないのか、  
知らないままでいいですか？



肝がんの原因の  
約**70%**は  
肝炎ウイルスです

一生に一度は  
肝炎ウイルス検査で

**が ん 予 防**

希望すれば、会社の健診と一緒に受けられる場合があります。検査当日することは、いつもと同じ血液採取です。

C型肝炎ウイルスは、  
飲み薬で排除できます。

効果は **95%** 以上



仕事を休む必要はありません。

最短2か月でC型肝炎ウイルスを排除できます。  
副作用はほとんどありません。B型肝炎ウイルス  
も飲み薬でコントロール可能です。

この項目をチェック！

過去の会社の健診ですでに肝炎ウイルス検査をして  
いることもあります。結果表をお持ちの方は右の  
項目をご確認ください。(+)は肝炎ウイルス陽性です。

HBs抗原 (+) -

HCV抗体 (+) -



厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業  
「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究班」



ひと、くらし、みらいのために  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

- HBs抗原 (+) -: B型肝炎ウイルスに感染している
- HCV抗体 (+) -: C型肝炎ウイルスに感染したことがある

どちらか陽性 (+) なら

## 肝臓専門医がいる病院を検索

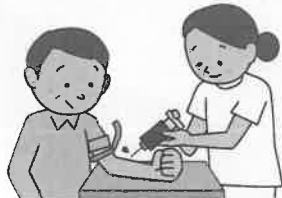
肝炎医療ナビゲーションシステム「肝ナビ」で  
肝臓病の専門医療  
機関を検索できます。



### まず、精密検査で肝臓の現在の状況を調べましょう。

- ウイルス量検査  
(採血自体は1~2分)

血液中の肝炎ウイルス量や  
型を調べます。



- 超音波検査  
(検査時間: 約20分)

超音波で肝臓の状態を  
調べます。

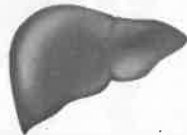


※初回精密検査は費用助成があります。各自治体にご相談下さい。

### 肝機能の数値が基準内でも、肝炎が進行してるかもしれません。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝炎が進行していても自覚症状がないことが珍しくありません。  
また、高齢になると病状の進行が早くなります。

肝炎ウイルスから  
発症する病気



健康な肝臓



慢性肝炎



肝硬変



肝がん

場合によっては、慢性肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

- HBs抗原 + (-) : B型肝炎ウイルスに感染していない
- HCV抗体 + (-) : C型肝炎ウイルスに感染したことがない

どちらも陰性 (-) なら

## 今後、肝炎ウイルス検査を受ける必要はありません。

ご希望の方には陰性証明カードを差し上げます。  
診察を受ける際にこれを提示すれば、検査の重複を避けられます。

肝炎ウイルス検査の結果は、陰性です。

	年月日	検査結果
	HBs抗原 (+) (-)	HCV抗体 (+) (-)
	氏名	
	施設名	
	確認者名	

病院・血科医館で診察や検査を受ける際は、このカードをお見せください。

(表)

今の日常生活で  
感染することはまずないので、  
肝炎ウイルス検査は必要ありません。

感染についてのご相談は  
肝炎検査・治療サポート情報は  
肝炎情報センターへ

肝炎情報センター



カードについてのお問い合わせは  
健診医機関  
またはこちらまで

(裏)